

2018 年度事業報告書

自 2018 年 4 月 1 日
至 2019 年 3 月 31 日

公益財団法人 徳島新聞社会文化事業団

[1] 「第2回徳島新聞"輝け 高校生"クラブ活動助成金」を贈呈

高校生のクラブ活動を支援する「徳島新聞"輝け 高校生"クラブ活動助成金」事業を一昨年新設。2018年4月5日付徳島新聞朝刊に社告を掲載し、5月31日まで申し込みを受け付けたところ、運動部門に23クラブ(前年13)、文化部門に15クラブ(前年14)の応募があり、県高校体育連盟・県高校文化連盟に審査依頼、決定しました。贈呈式は7月11日に徳島新聞社1階会議室で行い、運動・文化各5部に20万円を贈りました。

・助成金を贈ったクラブは次の通り。

◇運動部

城東高等学校 女子バレーボール部(ビーチバレー)

(代表=高橋 光 13人 顧問=藤枝 直行)

小松島西高等学校勝浦校 ライフル射撃部

(代表=堀之内 愛 15人 顧問=米倉 陽平)

徳島商業高等学校 テニス部

(代表=林 美紅 31人 顧問=新居 弘行)

徳島科学技術高等学校 ソフトボール部

(代表=西岡 洋人 23人 顧問=元木 貴大)

国府支援学校 スポーツ部

(代表=宮崎 滯 18人 顧問=山本 晃)

◇文化部

徳島商業高等学校 吹奏楽部 (代表=宮本 怜奈 57人 顧問=和泉 康洋)

徳島市立高等学校 放送部 (代表=宮川 涼花 18人 顧問=鏡石 浩史)

小松島西高等学校勝浦校 民芸部 (代表=向井 佑斗 11人 顧問=横石 知也)

鳴門渦潮高等学校 UZUcafe (代表=森本 真由 8人 顧問=谷本 浩志)

那賀高等学校 JRC部 (代表=大田 敬斗 8人 顧問=西沢 幸恵)

[2] 「第7回徳島新聞生命科学分野研究支援金」を贈呈

県内の大学生または大学院生を対象に生命科学分野の研究を支援する「第7回徳島新聞生命科学分野研究支援金」の贈呈式を7月24日に行い、徳島大学・大学院、四国大学大学院、徳島文理大学の学生による5件の研究に各20万円を贈りました。

支援対象の決定に当たっては、研究に対する情熱、意欲と研究活動資金不足のひっ迫度・緊急程度などを考慮し、福山愛保文理大学薬学部教授らで組織する審査委員会

で決定しました。今回、各大学からの応募は 29 件（徳島大・大学院 25 件、四国大学大学院 3 件、徳島文理大学 1 件）でした。

支援金を受けたのは以下のみなさんです。

・徳島大学大学院 薬科学教育部 創薬科学専攻

博士後期課程 2年 とぐち むねひさ
戸口 宗尚

・徳島大学 医学部 医学科 5年

ふじもと しょうた
藤本 将太

・徳島大学大学院 医科学教育部 医学専攻 第4年次

ARIUNBOLD GANKHUYAG (ガンホヤグ・アリウンボ
ルド)

・徳島文理大学 薬学部 薬学科専攻 5年

はしもと のりこ
橋本 紀子

・四国大学大学院 人間生活科学研究科 人間生活科学専攻

修士課程 2年 おだに わたる
小谷 航

[3] 「第24回徳島障害者芸術祭 エナジー2018」を開催

4月22日にねっとわ〜くAsの皆さんと第1回の打ち合わせを行い、7月28日の第2回打ち合わせでポスターのデザインを決め、開催にむけて準備をはじめました。作品の募集は8月末で締め切りました。

県文化の森総合公園内の県立近代美術館ギャラリーと21世紀館多目的活動室にて10月10日から14日まで開催しました。今回は、279人、36グループから計315点が出展されました（前年298人、34グループから332点）。昨年に引き続き、2020年の東京五輪・パラリンピックの公式エンブレムに採用された徳島県特産の藍に光を当てる「藍色作品」を募ったところ、24人、8グループから出品があり、特設コーナーで展示しました。最終日に美術館ギャラリーで、エナジー大賞（賞金3万円）2人、エナジー賞（1万円）10人、藍色エナジー賞（2万円）1人、審査員特別賞（1万円）2人、ねっとわ〜くAs賞5人、人気投票ベスト5のかみなづき賞5人を表彰しました。

[4] 「第2回徳島新聞ふるさと元気事業支援金」を贈呈

地域の活性化等に貢献している県内中小企業・小規模事業者を支援する事業。産業育成を通じて地域を元気にしたいという寄付者（中田祐児氏）の思いから、昨年度より始めました。

今回は15件（前年9件）の応募があり、11月27日に審査会を開催。佐那河内村で地産地消の宅配弁当サービスを手掛け、女性の活躍の場を提供している「YOME 厨房」に支援金100万円を贈ることを決めました。贈呈式は12月17日に行いました。

[5] 「第47回歳末チャリティー作品・色紙即売展」を開催

第47回歳末チャリティーは、12月14日から16日まで、そごう徳島店で開催しました。その後、18日から21日まで新聞放送会館でも開きました。183人（前年163人）の芸術家や著名人らが絵画や手工芸、サイン色紙など449点（同386点）を出品。そごう会場での売り上げは2,091,100円で前年より223,270円上回りました。会期を昨年より一日増やして実施したため、来場者も増え、故・関政明さんの遺作コーナーやエナジーコーナーでの障害者の力作が人気を集めていました。

社内販売等を含めた総売上額は2,656,908円で、前年比141,578円増となりました。一方、諸経費を差し引いた収益金は450,936円で、前年より15,250円減りました。例年通り全額を徳島新聞社会文化助成金に充てました。

今後とも、県内外のアーティストの発掘に努め、売れる作品の出展につながる活性化策を探っていきます。

出品者等は次の通り。

出品者 183人（前年163人）

| | | | | | |
|-------|-----|-------------|----|----------|-----|
| 洋画 | 51人 | 日本画 | 8人 | 版画家 | 6人 |
| 彫刻家 | 5人 | グラフィックデザイナー | 3人 | イラストレーター | 1人 |
| 美術工芸家 | 15人 | 藍染 | 4人 | 消しゴム版画家 | 1人 |
| 作家 | 1人 | 芸能人 | 3人 | 阿波踊り | 1人 |
| 漫画家 | 1人 | 音楽家 | 3人 | 棋士 | 10人 |
| ゴルフ | 1人 | 文化人 | 1人 | 歌舞伎役者 | 7人 |
| 落語家 | 1人 | 講談師 | 1人 | 手工芸家 | 33人 |

| | | | | | |
|---------|-----|--|--|--|--|
| エナジー出品者 | 26人 | | | | |
|---------|-----|--|--|--|--|

作品 449点 (前年 386点)

| | 出品数 | | 販売数 | |
|-------|------|-------|-----|------|
| 美術作品 | 145点 | (133) | 59点 | (59) |
| 色紙作品 | 95点 | (89) | 66点 | (65) |
| 手工芸品 | 91点 | (95) | 79点 | (91) |
| 美術工芸品 | 118点 | (69) | 83点 | (44) |

収益金 450,936円 (前年 479,186円)

総売上額 2,656,908円 (前年 2,515,330円)

会場販売 2,091,100円 (1,867,830円)

社内販売 151,500円 (73,500円)

阿波銀行 372,000円 (569,000円)

美馬ガクブチ 23,000円 (5,000円)

関政明展 19,308円

経費 2,205,972円 うち作者還付金 1,092,400円 (851,850円)

[6] 「追悼・関政明展」を開催

重度の障がいと闘いながら一生涯、芸術活動を続け、感性豊かな優れた絵画や短歌を多く遺した関政明さん（小松島市）の一周忌追悼展を、1月13日から20日まで徳島大学日亜会館「ギャラリー新蔵ギャラリー」で開きました。障害者芸術祭「エナジー」の関連事業として実施。絵画35点のほか、短歌や俳句、書籍などを展示、エナジーを共催するねっとわ〜くAs代表の村上哲史さんの絵画2点も特別展示しました。期間中、約700人が来場し、関さんの足跡をしのびました。

[7] 徳島新聞社会文化助成金を贈呈

今回は98団体(前年103)から総額13,458,932円(同13,341,000円)の申し込みがありました。初申請は15団体(前年14)。選定の結果、助成先は77団体(前年83)。助成総額は6,020,000円で、前年(6,270,000円)より250,000円減っております。希望する申請額通りには及びませんが、できるだけ多くの団体に行き渡るように事業計画等を精査、実績等とも比較しながら算定し

ました。前年に引き続き、県福祉基金、県社協、日亜財団から助成を受けた団体はできるだけ遠慮願うことにしました。

例年通り障害者団体や福祉、ボランティア団体、連合会、等を中心としましたが、「写楽の会」、「野上彰の会」といった初申請の団体に上限の20万円を助成するなど、メリハリもつけながら、申請内容を十分吟味し、適正と認めたものに金額等を決めさせていただきました。贈呈式は3月12日に行いました。

助成団体は次の通り。

(単位:千円)

| 団体名 | 代表者 | 前年度 | 申請額 | 決定額 |
|-------------------------|--------|-----|-----|------------------|
| ◆肢心障害者関係＝14団体900 | | | | |
| | | | | (申請は16団体1,710) |
| 徳島県精神障害者家族会連合 | 西村 三希子 | 80 | 100 | 50 |
| 身体障害者クラブ レッツ無限 | 土肥 康弘 | 50 | 60 | 50 |
| 徳島県重症心身障害児(者)を守る会 | 杉本 勝 | 80 | 100 | 70 |
| ねたきりになら連実行委員会 | 久米 秀昭 | 100 | 200 | 100 |
| 徳島車いす友の会 | 井村 咲子 | 50 | 50 | 50 |
| ぱそこんくらぶ レッツICT | 村上 哲史 | 80 | 100 | 80 |
| 障害者共助グループ 友遊くらぶ | 山崎 一磨 | — | 100 | 50 |
| 徳島県ノーマピックバスケットボールクラブ | 中山 直人 | 80 | 100 | 50 |
| 徳島ウイングス | 西上 勝 | 100 | 150 | 80 |
| 徳島心理リハビリテーション親の会「すだちの会」 | 野田 恵子 | 80 | 200 | 70 |
| 徳島県精神保健福祉ボランティア連絡協議会 | 林 邦恵 | 50 | 50 | 50 |
| 重度障害者ネットワーク | 森 厚子 | 50 | 100 | 50 |
| (特非) トモニ発達支援所 | 堀内 宏美 | — | 100 | 100 |
| ヒューマンケア徳島 | 天野 善仁 | 50 | 50 | 50 |
| ◆肢心障害者小規模作業所関係 | | | | |
| | | | | 1団体50(申請は4団体240) |
| いたの共同作業所あせび | 石田 初美 | 0 | 50 | 50 |
| ◆内部障害者関係＝2団体100 | | | | (申請は2団体130) |
| (特非)徳島県腎臓病協議会 | 豊田 洋子 | 80 | 80 | 50 |
| 徳島県内部障害者団体 | 奥村 忠男 | 50 | 50 | 50 |

| | | | | |
|--------------------|----------------|----|-----|-----|
| ◆視聴覚障害者関係＝8団体450 | (申請は 9団体1,100) | | | |
| (一社)人工内耳友の会 徳島支部 | 眞本 英司 | 50 | 100 | 50 |
| 徳島県筆記通訳者協会 鳴門支部めだか | 林 明実 | 50 | 70 | 50 |
| 徳島県音訳ボランティア友の会 | 脇 和子 | 50 | 100 | 50 |
| 板野町ボランティア 要約筆記あせび会 | 小林 礼子 | 50 | 80 | 50 |
| 徳島県筆記通訳者協会 | 林 明実 | — | 200 | 100 |
| 徳島県難聴者と支援者の会 | 大西 美子 | — | 70 | 50 |
| 点訳サークル「コスモス」 | 木村 勝子 | — | 200 | 50 |
| 徳島県中途失聴難聴者協会 | 遠藤 孝 | 50 | 80 | 50 |

| | | | | |
|-----------------------|-----------------|-----|-----|-----|
| ◆医療奉仕団体＝7団体620 | (申請は 12団体1,620) | | | |
| 徳島県ハンセン病支援協会 | 十川 勝幸 | 200 | 200 | 200 |
| リレー・フォー・ライフ・ジャパン小松島 | 渋谷 義久 | 80 | 200 | 70 |
| とくしま骨髄バンクを支援する会 | 池田 良一 | 50 | 50 | 50 |
| 徳島県網膜色素変性症協会(JRPS 徳島) | 立田 弘 | 100 | 100 | 80 |
| 世界自閉症啓発デー2019徳島実行委員会 | 堀内 宏美 | 50 | 150 | 50 |
| アフリカ眼科医療を支援する会 | 内藤 毅 | 100 | 200 | 100 |
| 徳島県脊柱靭帯骨化症友の会 | 近藤 力 | 80 | 200 | 70 |

| | | | | |
|------------------------|-----------------|-----|-----|-----|
| ◆地域社会奉仕団体＝30団体2,160 | (申請は 39団体5,860) | | | |
| とくしま動物園ボランティアの会 | 山下 健一 | 50 | 50 | 50 |
| 徳島県交通遺児育成会 | 飯泉 嘉門 | 100 | 100 | 100 |
| (特非)月見ヶ丘海浜公園を育てる会 | 加賀見 孝志 | 50 | 100 | 50 |
| 石井ボランティアあすなろ会 | 笹田 典子 | 50 | 100 | 50 |
| SCDトークしましょ会 | 富永 祥二郎 | 50 | 100 | 50 |
| とくしま食育推進研究会 | 野間 智子 | 80 | 200 | 50 |
| 野上彰の会 | 竹内 菊世 | — | 200 | 200 |
| ボランティア「友の会」ひまわり | 前田 すづ子 | 50 | 100 | 50 |
| (特非)四季の会 | 坂東 範昭 | — | 200 | 80 |
| とくしまチャイルドライン | 亀井 栄子 | 50 | 100 | 50 |
| 地域支援ネット そよ風 | 八村 有希子 | 50 | 200 | 50 |
| FREEZE(阿南市ボランティア連絡協議会) | 岡久 徹雄 | 50 | 200 | 50 |
| (特非)徳島県ボランティア協議会 | 太田 晴清 | 100 | 100 | 70 |

| | | | | |
|--------------------------------------|--------|-----|-----|-----|
| KSCの会 | 片岡 時恵 | 50 | 100 | 50 |
| 川東名神代御宝踊り保存会 | 本城 利一 | — | 200 | 80 |
| やねこじき・d e ・町おこしの会 | 宗石 圭子 | — | 200 | 80 |
| 阿波忌部僮服調進協議会 | 木村 雅彦 | — | 200 | 70 |
| 徳島県ラージボール卓球委員会 | 山勢 和幸 | — | 200 | 100 |
| (特非) 自然スクールトエック | 伊勢 達郎 | — | 200 | 80 |
| ストップDV・サポートの会 | 東條 恭子 | 50 | 150 | 50 |
| グランマ | 稲井 美緒子 | 50 | 200 | 100 |
| 三加茂ゴールドクラブ | 松江 圭五 | 50 | 200 | 50 |
| 女性グループ・すいーぷ | 山橋 潔子 | 50 | 150 | 50 |
| NPO法人みなと小松島スポーツクラブ | 吉岡 俊二 | 80 | 180 | 70 |
| (特非) 子育て支援ネットワークとくしま | 松崎美穂子 | — | 200 | 100 |
| 徳島大学ドイツ兵俘虜研究会 | 井戸 慶治 | — | 150 | 150 |
| 女性への暴力根絶をめざす徳島ネットワーク | 佐野 正代 | 50 | 200 | 50 |
| CAPとくしま | 日下 智賀子 | 50 | 200 | 50 |
| とくしま食育p l u s ネット | 元木 美咲 | — | 100 | 80 |
| (特非) Approach For Life Saver(アプローチ会) | 勝瀬 烈 | 100 | 200 | 50 |

◆郷土芸能・文化関係=15団体1,740

(申請は 16団体2,798.932)

| | | | | |
|-------------------|--------|-----|-----|-----|
| 徳島県阿波踊り協会 | 米田 豊彦 | 200 | 200 | 200 |
| 阿波おどり振興協会 | 朝日 榮作 | 100 | 100 | 100 |
| 蜂須賀まつり実行委員会 | 四宮生重郎 | — | 200 | 100 |
| 阿波の歴史を小説にする会 | 竹内 菊世 | 200 | 200 | 200 |
| (特非) オペラ徳島 | 杉尾 登志光 | 100 | 200 | 100 |
| 小松島市阿波踊り振興会 | 安平 剛之 | 80 | 150 | 80 |
| (特非) 写楽の会 | 川島 周 | — | 200 | 200 |
| (公財)阿波人形浄瑠璃振興会 | 森 恵子 | 120 | 300 | 100 |
| 徳島佐苗会・青の会 | 杵屋 佐篠 | 150 | 200 | 150 |
| (特非)徳島能楽振興会 | 吉田 秀夫 | 100 | 100 | 50 |
| 徳島少年少女合唱団 | 上田 収穂 | 100 | 200 | 100 |
| 徳島ペンクラブ | 丁山 俊彦 | — | 100 | 80 |
| NPO法人AWAアートプロジェクト | 美馬恵美子 | — | 200 | 100 |
| (特非) 阿波の国子ども歌舞伎 | 瀬戸 昌子 | — | 200 | 100 |

| | | | |
|----|-------------|----------------|-------------|
| 原資 | 6,020,000 円 | 前年 | 6,270,000 円 |
| 内訳 | 2,107,653円 | 寄託寄付金 | |
| | 450,936円 | 第47回チャリティー展収益金 | |
| | 3,461,411円 | 事業団から拠出 | |

[8] 「第46回徳島新聞奨学生」の選考

第46回奨学生（2019年度生）は、県外・県内大学文系と理系に分け、5月15日付社告で募集開始。応募者は、県外文系15人（定員6）理系22人（定員5）、県内文系4人（定員2人）理系8人（定員2）の総数49人（12校）でした。昨年度の応募総数は41人（11校）。

筆記試験を8月2日、応募者49人に実施。試験結果に家庭事情点を加点し、25人を選考。8月26日に面接試験を行い、給付予定者15名と補欠者10名を内定しましたが、給付予定者のうち1人が大学に合格できなかったため、補欠の1人を繰り上げました。合格者15人のうち3人をキョーエイ奨学生として推薦しました。

徳島新聞奨学生については3月26日に本社にて贈呈式を行いました。最終決定した奨学生は下記のみなさん。（氏名に続き進学大学・出身地・出身高校の順、敬省略）

◇県外大学（月額奨学金55,000円、支度金50,000円）

文系（4人）

| | | | |
|-------|------------|-----|-----|
| 中山 真 | 同志社大学 法学部 | 名西郡 | 富岡東 |
| 真貝 涼 | 岡山大学 法学部 | 徳島市 | 城ノ内 |
| 大野 航輝 | 早稲大学 経田済学部 | 徳島市 | 城東 |
| 木内 珠美 | 青山学院大学 文学部 | 名西郡 | 城ノ内 |

理系（4人）

| | | | |
|-------|-----------|------|------|
| 北村 名史 | 千葉大学 理学部 | 徳島市 | 城東 |
| 藤本 陸 | 東京大学 理科I類 | 小松島市 | 徳島文理 |
| 井本 健斗 | 京都大学 工学部 | 三好市 | 池田 |
| 青木 一真 | 京都大学 薬学部 | 徳島市 | 城東 |

◇県内大学(月額奨学金 30,000 円、支度金 30,000 円)

文系(2人)

| | | | |
|-------|---------------|-----|-----|
| 藤本 志保 | 鳴門教育大学 学校教育学部 | 板野郡 | 城ノ内 |
| 笹川 由衣 | 徳島大学 総合科学部 | 徳島市 | 城南 |

理系(2人)

| | | | |
|-------|----------|-----|-----|
| 高岡 麻佑 | 徳島大学 薬学部 | 徳島市 | 城東 |
| 山下 太一 | 徳島大学 医学部 | 徳島市 | 城ノ内 |

第 36 回キョーエイ奨学生

| | | | |
|----|-------|-----------|-----|
| 県外 | 小寺 裕太 | 岡山大学 教育学部 | 徳島北 |
| | 小島 佑一 | 明治大学 商学部 | 城南 |
| 県内 | 柏原 萌海 | 徳島大学医学部 | 城東 |

◇2019年3月で給付の終わった人の進路は次の通りです。

▽第 40 期生

| | | |
|-------|-----------|-----------------------------|
| 大道 如毅 | (徳島大学医学部) | 徳島市民病院 |
| 野口 拓樹 | (徳島大学医学部) | 社会福祉法人聖隷福祉事業団 総合病院聖隷浜松病院 |

▽第 42 期生

| | | |
|-------|--------------|---------------|
| 川野 真弘 | (神戸大学法学部) | 徳島県庁 |
| 金沢 晶 | (横浜国立大学経営学部) | 個人事業 |
| 桑内 綾菜 | (明治大学政経学部) | 大和証券投資信託委託(株) |
| 和佐 朋枝 | (岡山大学経済学部) | 株式会社アイネス |
| 岸 龍兵 | (京都大学理学部) | 京都大学大学院工学研究科 |
| 吉村 宇洋 | (神戸大学理学部) | 神戸大学大学院理学研究科 |
| 東條 美雪 | (徳島大学総合科学部) | 株式会社パパベル |
| 高田 愛香 | (徳島大学総合科学部) | 株式会社四国日立 |

[9] 寄託寄付金の受け入れ

2018年度は15件2,607,653円の寄託がありました(徳島新聞社分2000万円を除く)。前年度と比べ3件、金額では126,603円減りました。

内部統制システムの運用状況の概要

法令及び定款を順守し、業務の適正を確保するための体制の整備も進めています。今後、さらに「コンプライアンス規程」を策定。これら規定に基づき、監事は、業務の有効性・効率性及び財産管理の状況をチェックし、理事及び職員の職務の執行が、法令・定款に適合しているかどうかを調査・確認していきます。

事業報告附属明細書の不記載

2018年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2019年5月13日

公益財団法人 徳島新聞社会文化事業団